



潜熱蓄熱材-24 取扱説明書

24～25℃付近を長時間維持する高機能蓄熱材。繰り返し使用可。

《調温方法》


◎輸送時の環境温度によって、調温方法が異なります。

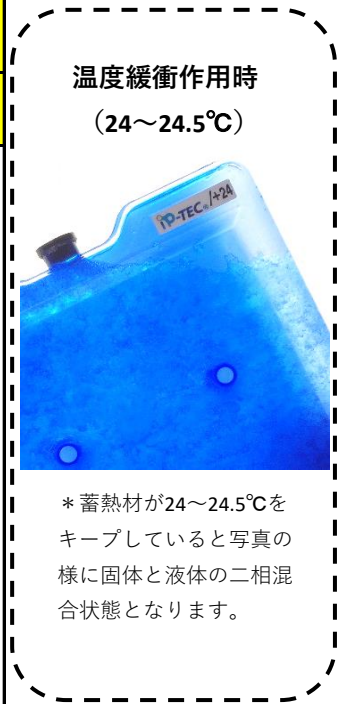
* 下記表を参考に、調温に適した温度と時間をご確認ください。

(できるだけ規定時間以上、調温してください。)

* 調温には恒温器、保温庫、保冷庫など温度設定可能なものをご使用ください。室内の空調設備も利用できます。

* 調温の際は、蓄熱材を重ねず、間隔を空けて配置してください。

気温	24.5℃以上	24.5℃以下
目的	保冷	保温
調温温度(℃)・時間(H)	4℃(4H) → 24℃(2H)	37℃(4H) → 25℃(2.5H)
調温完了の状態	固体 (白色・不透明)	液体 (透明)
	 <p>* 規定の温度以下で調温した場合、表面温度が24～25℃付近になった直後に使用すると、温度低下をおこすことがあります。 →この場合は、室温で1時間程度静置してください。</p>	 <p>* 規定の温度以上で調温した場合、表面温度が24～25℃付近になった直後に使用すると、温度上昇をおこすことがあります。 →この場合は、室温で1時間程度静置してください。</p>



⚠ 注意

- ・オートクレーブ、電子レンジの使用は絶対にしてください。
- ・火に近づけないでください。
- ・高温になる場所、直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- ・凍結させないでください。
- ・調温の際、45℃以上にならないでください。容器変形、破損の恐れがあります。
- ・強い衝撃を与えたり、落下させたりしないようご注意ください。
- ・中身を容器から取り出さないでください。
- ・容器の洗浄に有機溶剤を使用すると、破損、劣化に繋がりますのでご注意ください。
- ・容器破損によって、内容物が眼に入った場合、清浄な水で注意深く十分に洗ってください。皮膚に付着した場合、皮膚を大量の水と石鹸で洗ってください。人体に異常を感じたら、必ず医師の手当てを受けてください。(眼、皮膚、他)

重量 : 700 g
 融点 ℃ : 24～25
 引火点 ℃ : 148
 容器材質 : PVC

* 全ての輸送に使用出来ます。

- ・陸上 消防法 指定可燃物
- ・海上 船舶安全法 非危険物
- ・航空 航空法 非危険物



株式会社 サンプラテック

□本社 … ☎(06)6353-5141 FAX(06)6353-5975
 □東京支店 … ☎(03)5688-5141(代) FAX(03)5688-5142
 □名古屋支店 … ☎(052)962-0291(代) FAX(052)962-0293